



議会だより だいせん

26号
2011年11月4日発行
鳥取県大山町議会



山香荘の整備計画を可決
敬老会で聞きました
12人が一般質問

2

25

13

9月
巻頭

何が決まったの？ 9月議会

9月定例会は、9月8日から9月29日までの会期で開かれました。平成22年度決算の認定や一般会計補正予算など、43議案が原案通り可決されましたので要約してお伝えします。

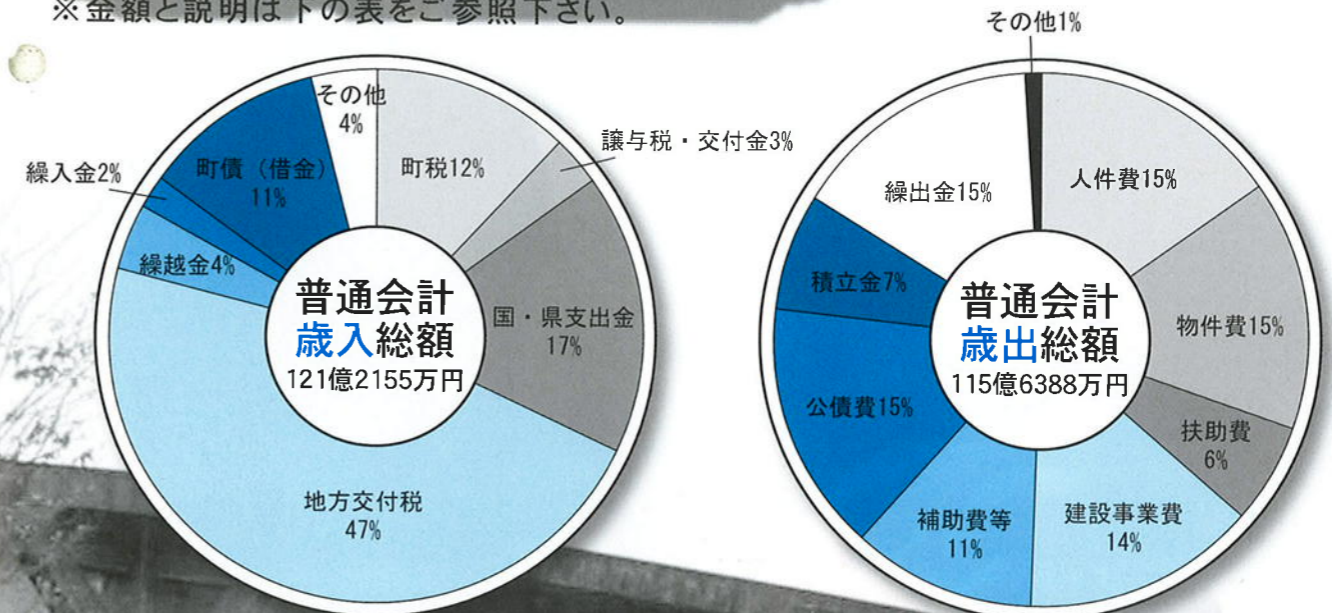
再提案の山香荘 グラウンド整備を含む 特別会計補正予算を可決！

詳細は
3～6ページに

平成22年度の決算を認定！

一般会計 項目別の割合は…

※金額と説明は下の表をご参照下さい。



普通会計 内訳(金額・説明)

項目	平成22年度	平成21年度	比較増減	説明
町税	14億9764万円	15億2373万円	△2609万円	町民税などみなさんが直接町に納めるお金
譲与税・交付金	3億7788万円	3億7483万円	305万円	市町村の均衡を図るために国が交付するお金
国・県支出金	20億0460万円	23億5702万円	△3億5242万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
地方交付税	56億9404万円	52億0727万円	4億8677万円	市町村の均衡を図るために国が交付するお金
繰越金	4億9296万円	4億5367万円	3929万円	前年度からの繰越金
繰入金	2億4431万円	9431万円	1億5000万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
町債(借金)	12億8700万円	12億8830万円	△130万円	町が事業を行うために借り入れるお金
その他	5億2312万円	4億7151万円	5161万円	使用料・財産収入・特別会計からの繰入金・繰越金
合計	121億2155万円	117億7064万円	3億5091万円	
人件費	17億8412万円	18億1935万円	△3523万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
物件費	17億6395万円	16億0822万円	1億5573万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
扶助費	6億9803万円	5億1402万円	1億8401万円	医療費・子ども手当などに使うお金
建設事業費	16億5210万円	21億5347万円	△5億0137万円	道路整備・建物等の建設に使うお金
補助費等	12億6313万円	12億0244万円	6069万円	補助金・負担金として支出するお金
公債費	17億6840万円	18億3309万円	△6469万円	町の借金を返済するために使うお金
積立金	7億6337万円	5億0626万円	2億5711万円	町の基金に積み立てるお金
繰出金	17億163万円	15億2286万円	2億5877万円	特別会計に繰出金として支出するお金
その他	8915万円	1億1797万円	△2882万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金
合計	115億6388万円	112億7768万円	2億8620万円	

✕ 反対

- ✕ 3月議会で否決された提案とほとんど変わっていない
- ✕ 町民の検討委員会や議会の提言が政策に反映されていない
- ✕ 多額の費用をかけて整備するべきではない
- ✕ 本館の修繕費用などが今後も継続的に発生するのでは
- ✕ 町長の選挙公約と異なる政策ではないか

○ 賛成

- 3月で否決された提案よりも町民利用がしやすい整備計画
- 議会の特別委員会でまとめた提言の理念が取り入れられた
- 年間1500万円程度の赤字を解消するために整備が必要
- 3月と比べ指定管理者候補がサッカー協会ありきではない
- 反対した議員の意見を参考に整備内容も変えている

米本 大森 杉谷 池田 岩井 諸遊 西山

竹口 近藤 西尾 吉原 足立 小原 岡田 椎木 鹿島

★16人で採決（野口昌作議員は欠席、野口俊明議長は採決に加わりません）

討論！山香荘はどうあるべきか？

主な論点 ①将来の町負担はどうなるのか
②町民の利用をどう増やすのか

議会がまとめた 山香荘の基本理念

議会は山香荘整備計画を否決後議員全員で特別委員会を設置し、多くの議論を重ねて整備計画の基本的な考え方をまとめました。ここでは基本理念のみ掲載します。

【基本理念】

- ①町民が利用しやすく利用できる施設へ事業展開し、町外からも広く集客できる施設として活性化をはかる。
- ②住民の福祉向上と健康増進を視野に入れ、自然豊かな資源を活かした施設とする。
- ③各種ツリーゾムの拠点として、行事、スポーツ、行楽、保養などが楽しめる施設とする。
- ④過大投資は避け、運営管理費に関する町費の繰り出しはできる限りなくす。

大山北麓（神田地区）活性化調査特別委員会のまとめ

議案 第126号 神田・渡道辺地に係る総合整備計画の策定

質疑

地元への説明

【大森議員】
①整備総合計画を地元住民に説明したか。
②3月議会で提案のあった計画では地元で説明をしたのに、今回なかったのはなぜか。

【町長】
①事業計画について、町民説明会は開催したが、地元集落への説明はしていない。
②神田・渡道辺地に係る総合整備計画の地元説明は3月も今回もしていない。

討論

【反対…杉谷議員】
近隣市町村は、サッカー場整備の誘致に関して財政負担が重く、町の活性化につながるかと判断している。厳しい社会経済情勢の中で、介護保険料などの増額は避けて通れない課題である。安心・安全なまちづくりを推進するためには、限りある財源を少子高齢化対策や教育、福祉、医療の充実に活用すべきである。

【賛成…近藤議員】
多目的グラウンドを人工芝に整備すれば、スポーツ合宿や大会を誘致することができ、交流人口がふえる。毎年約1500万円の赤字解消にもつながる。さらに、スポーツ愛好家などを中心に大山への好感度が高まり、観光、農業・水産業などへの波及効果が期待できる。

【反対…大森議員】
3月議会で否決された総合整備計画書と大同小異で、強行すべきではない。地元住民の理解が得られていない計画は提案すべきでない。優先すべきは、災害の復旧、被災地の復興、町民のための福祉、教育、くらしである。

賛成議員

鹿島 椎木 岡田 小原 足立 吉原 西尾 近藤 竹口

反対議員

西山 諸遊 岩井 池田 杉谷 大森 米本

可決

★16人で採決（野口昌作議員は欠席、野口俊明議長は採決に加わりません）

3月議会と9月議会の計画案を比べると…

3月議会	主な項目	9月議会
サッカーコート2面 (人工芝・天然芝各1面)	新設内容	人工芝グラウンド1面 グラウンドゴルフ場1面
3億5500万円	事業費	3億3500万円
県サッカー協会を想定	指定管理	町の計画にそって公募
サッカーコート2面は サッカー協会の 優先使用条件あり	町民利用	人工芝グラウンド1面のみ サッカー協会の 優先使用条件あり

【主な提案内容】
山香荘は整備を一切せず
方針は今後検討していく

議案 第128号 地域休養施設 特別会計補正予算

修正案

提案者：大森議員

質疑

具体案

整合性

提言の枠内

基本理念

討論

【西尾議員】
①修正案は、事業費3億3500万円を除いただけのものか。
現状維持だともっと赤字がふくらむと考えるが…。
②3月で区切るこのことだが、具体案はあるのか。

【竹口議員】
①グラウンドゴルフ場計画までも削除する理由は。②修正案で削除されている歳入の辺地債2億1000万円は、可決されたわけだが、その整合性は。

【足立議員】
①修正案には、山香荘の設計管理委託料190万円と第三者評価委員会の謝礼金10万円は認めてあるが、精査されたのか。②議会特別委員会の提言の枠内での修正案であるべきと思うが。

【吉原議員】
議会特別委員会の提言の基本理念は、修正案のどこに入っているか。基本理念にもとづいて運営すべきと思うが、その整合性は。

【大森議員】
それは特別委員会で議論だ。本会議では、基本理念にもとづいた修正案を出さなくてもよいと思う。拘束されるものではない。自由な議論があっている。

否決

- 賛成議員
西山 岩井 池田 杉谷 大森 米本
- 反対議員
鹿島 椎木 岡田 小原 足立 諸遊 吉原 西尾 近藤 竹口

【反対…竹口議員】
3月とまったく同じ議案が出ていたとは思えない。特別委員会で、整備案を詳細につめておくべきだったと反省している。議会が一つにまとまるような修正案を出したかった。今回提案された内容は、懸念のあったランニングコストの問題、指定管理者の不安がクリアされている。

【賛成…岩井議員】
山香荘で金儲けしようとは誰も言っていない。しかし、大規模な計画が示された。過去の教訓を生かし、軸足を町民に置き、課題の解決に取り組むべき。

【主な提案内容】
山香荘に人工芝グラウンド1面と
グラウンドゴルフ場1面を新設

議案 第128号 地域休養施設 特別会計補正予算

原案

質疑

グラウンドゴルフ場

変わった点

評価委員会

討論

【米本議員】
多目的グラウンドと8ホールのグラウンドゴルフ場が計画してある。町民の利用が練習だけにないか。

【竹口議員】
3月議会で否決された議案と変わっていない提案だという意見が出ていたが、3月議会の提案内容と変わった点は。

【吉原議員】
第三者評価委員会の謝礼金が計上されているが、どんなメンバーを想定しているか。また、評価委員会の内容は。

【反対…諸遊議員】
本町は毎年人口が減っている。不景気な時でもあり、町民の声は中止が多い。3月の提案と変わっていない。

【賛成…近藤議員】
赤字を減額していくには、スポーツツーリズム、グリーンツーリズムで活力を見出す以外にない。

【賛成…米本議員】
報告書のどこに既存のグラウンドのほかに、新しいグラウンドを建設すると記述してあったか。

【反対…米本議員】
「過大投資は避け、管理費にかかる町費の繰り出しはできる限りなくす」これが基本だ。

【賛成…米本議員】
この間違った解釈で出された議案にNOと言った議員の本筋だ。

【賛成…米本議員】
サッカークートはだめと議会は言っていない。町民の利用のしやすさ、エコツーリズム、スポーツツーリズムの観点から、過大投資や町費の繰り出しを避けるには、執行部提案に落ち着く。

- 賛成議員
鹿島 椎木 岡田 小原 足立 吉原 西尾 竹口
- 反対議員
西山 諸遊 岩井 池田 杉谷 大森 米本

可決

★16人で採決（野口昌作議員は欠席、野口俊明議長は採決に加わりません）

★16人で採決（野口昌作議員は欠席、野口俊明議長は採決に加わりません）

チェックします！

議案質疑

質疑とは、予算案や条例改正案などの疑問点に対して、詳しい説明を求めめることです。あくまでも目的は、問いたですることなので、自分の意見を述べることはできません。

ゴミ袋

〔竹口議員〕
 ①家庭用可燃ごみ袋の中サイズを加える条例改正を含むが、どの程度の利用や需要を見込んでいるか。
 ②経費や手数料収入はどうか。
 ③経過は。

〔住民生活課長〕
 ①今年度9万枚の発注を予定し、240万円の収入で差し引き170万円がゴミ消却費用になる。
 ③議会報告会の際に、住民から要望が出たとの報告を受け、必要だと判断した。

地下水条例

〔西尾議員〕
 ①地下水の採取に関する条例改正の背景を具体的に。
 ②県との連携などは。

〔企画情報課長〕
 ①近年、地下水の採取が全国的に増えている。そこで、地下水を開発行為と位置付け、計画的な開発をするため。
 ②県は、地下水の取水制限の法との関係を考えて、一定規模以上では県内の地下水状況などのデータを収集すると聞いている。

地下水調査

〔岩井議員〕
 ①地下水調査委託料が100万円計上されているが、委託先と場所の数は。
 ②調査の結果、今後の取り組みをどうしていくのか。

〔企画情報課長〕
 ①地下水の調査は鳥取大学に委託を予定している。町内の地下水量を把握をするための事業。大学で調査と研究もする。
 ②業者が水の採取を予定している関係で、来年度以降どう対応するか判断材料にする。

恵みの里公社

〔近藤議員〕
 大山恵みの里公社への補助金が3300万円。専務理事の人員費も含んでいるが、専務理事は公益事業に関わりが少なく、どの程度関わったのか。

〔観光商工課長〕
 専務理事の仕事の2分の1が公益事業に関わると算定。大山ブランドの推進など、全国に大山町の産品を紹介し、生産者、加工者、販売会社をつなぐために努力してもらっている。

農産加工所

〔岩井議員〕
 農産物処理加工施設は、地元の食材を半調理して出荷する目的もある。当初の考えと違った方向に行きつつあるが、軌道修正をする考えは。

〔町長〕
 原材料は、当初の計画通り契約で生産してもらうことができていない。今後はじゃがいもや玉ねぎを計画的に生産する体制をつくる予定。

道路の新設

〔大森議員〕
 道路の新設改良費の関係で、町道中山インター線の進捗よく状況は。

〔建設課長〕
 中山インター線は、平成22年度に測量設計・一部着工予定だったが、地権者との関係で測量に立ち入れない状況になった。また、国道9号線の交差点部分の詳細設計業務は完了した。
 平成23年度に測量などを進めていきたい。現在、用地の交渉中。

大山診療所

〔小原議員〕
 大山診療所の固定医が確保できていない。そのため大山診療所で受診せず、大山口診療所で受診している人が増えている。固定医を早く見つけ、安心させるのが行政の役割だと思うが。

〔保健課長〕
 一日も早く固定医を確保すること、患者離れの現状を改善したい。固定医が確保できれば改善できると考えられるので、引き続き取り組みたい。

シロアリ駆除

〔野口議員〕
 ①環境保全型農業直接支援対策事業の補助金が69万円。どういう事業をやる予定か。
 ②シロアリ駆除手数料228万円。何棟の駆除か。

〔農林水産課長〕
 ①環境保全型、国の交付金事業で新規の事業。有機農業に取り組んでいる3件分の面積にともなう交付金。
〔建設課長〕
 ②シロアリ駆除手数料は、さざんか台団地16棟分。

基金

〔竹口議員〕
 ①町の貯金である基金は、平成20年度末が31億円、平成22年度末で40億円。毎年3〜4億円増えているが評価は。
 ②大山町の予算規模100億円に對して、基金の適正規模は。

〔総務課長〕
 ①国の有利な交付金制度を活用して事業を行った結果、基金に積み立てができた。将来、国の優遇制度が続くのか不透明。
 ②適正規模がいくらかという判断はできない。

財政

〔近藤議員〕
 国の有利な交付金の制度が不透明なため、基金を積み立てているという事だが、行政をスリム化して財政的な余裕を生み出すのが本来の形。町民は、貯金をくずしながら生活している。地方府である役場だけが、基金を増やしているがどう考えるか。

〔町長〕
 平成23年度も積極的に財政改革を進めている。町内の経済対策は、一生懸命知恵を絞り提案する。

ファンクラブ

〔吉原議員〕
 ①ファンクラブは、会員数が17人の減だが、どう考えるか。
 ②ふるさと納税にもつながる大事な事業。昨年と違うような企画は考えていないか。

〔企画情報課長〕
 ①会員数の減少は、高齢者の勇退が大きな原因。新規加入が少ないことも要因。
 ②平成23年度の新しい取り組みとして、大山町出身者ではないファンの獲得を考えている。

教育民生

常任委員会

調査日

9月13日
9月14日
9月15日

教育支援 センター「寺子屋」

県補助金は今年度限りという方針がでているが、本町では不登校児童・生徒の学習支援のほか、数多くの電話・来所・訪問相談に対応している。保護者や子供の支援に大きな役割をはたしている。支援継続又は職員派遣を希望している。

学校教育課

子ども会 リーダー研修会

小学校4～6年生を対象に2泊3日（昨年度まで1泊2日）に増やした。児童36人が大山青年の家で、自然体験活動などを通して交流と資質向上をはかった。

社会教育課

食育の日

保育所では、毎月19日の「食育の日」に合わせて「食」の大切さを教え、食べ物への感謝の気持ちを育てている。

幼児教育課

小地域 保健福祉活動

健康づくりや地域の支え合い活動などの推進を目的に、単町の新規事業として予算計上されていた。今回、県の補助事業として採択されたことで、各種講演会や研修会、福祉情報冊子の作成などを新たに計画し、事業の充実をはかる。

福祉介護課

可燃物用 中型ゴミ袋

現在、ゴミ袋は大・小2種類。町民からの要望で、新しく中サイズ（大袋の7割程度の容量、15枚入り400円）を10月から販売する。

住民生活課

健康づくり

がん検診など大人の健診（検診）は、啓発活動や健診制度・休日検診の定着、人間ドッグの希望者の増加で受診率が向上してきた。休日検診の回数増、保健推進員の支援や協力で、受診率のさらなる向上をはかる。

保健課

羽田井地区 護岸壁崩壊現場

中山地区 ブロッコリー畑

梨選果場 糖度センサー選果機

経済建設

常任委員会

調査日

9月13日
9月14日
9月15日

香取地区 給水管復旧現場

県道 土砂崩れ現場

香取地区 こんにゃく芋畑

台風被害に関する補正予算の審議のため、今会期中は、台風の被害状況を中心に現場を調査しました。そのほか、生産拡大をめざすこんにゃく芋畑、梨の糖度センサー付き選果機などを確認しました。

常任委員会って どんな活動をしているの？



議会では、より詳しい審議をするため3つの常任委員会を設置し、担当を分けた活動も行っています。委員会の様子は、ケーブルテレビで生放送が行われていませんが、不定期で録画したものを放送しています。また、本会議と同様に委員会の傍聴もできますので、ご希望の方は議会事務局までお問い合わせください。

大山町議会事務局 0859-54-5213

【平成23年9月議会の経済建設委員会の様子】

委員会報告

求心 花嫁・花婿

結婚対策協議会補助金は毎年100万円の予算化がしてあるが、6年経過しても成婚は1組もない。今年度から推進員を置き、仲を取り持つ仲人役をお願いする。ファンクラブ会員は年々減少している。新規会員の勧誘を求めた。

企画情報課

固定資産税

固定資産税が数年経って前回より高くなることを聞いた。これは、新築3年間の軽減措置が関係。平成22年度の町税の未収金のうち約1192万円を不納欠損処分とした。

税務課

来年は

緊急雇用創設事業は、今年が最終年度。国の方針によるが、来年度以降の事業の継続が懸念される。

総務課

視察

中高ふれあい文化センターで建物の配置や利用状況、大山支所でガラスの不具合を確認。また、旧中山庁舎の現状を視察し、今後の利活用を検討した。

総務

常任委員会

調査日

9月13日
9月14日
9月15日

なすばる

中山温泉「お食事処なすばる」の営業状態が不明。契約内容を確認し改善を求めた。8月に遊具の改修工事が終わった仁王堂公園は、夏休みと相まって評判はよかった。

総合窓口課

回収に 努力を

住宅新築資金等貸付事業特別会計は、町全体の滞納額の約半分に当たる3億1200万円の滞納がある。実情を考慮しながらも回収に努力を求めた。

人権推進課

早期に

地籍調査は外部委託によって大幅に事業が進んだ。平成24年度には全域発注し、完了面積を増加させる。

地籍調査課

昨年度の行政はどうだったのか？

監査委員の審査とは、町長から提出された決算書・関係調書などを、以下の項目でチェックすることです。

- ①決算計数は正確で誤りはないか。
- ②予算は、関係法令に基づき効果的かつ的確に執行されているか。
- ③収入支出事務は、関係法令に基づき、計画的、効率的に処理されているか。
- ④財産は適正に管理運営されているか。

監査委員の指摘

代表監査委員 松本正博
議会選出監査委員 鹿島功

①ごみ袋代金紛失事件以来、職員の意識改革をしていると報告を受けていたが、中山支所総合窓口課で、公金横領事件が発覚した。

住民の行政に対する不信心は増大している。公金の管理を徹底し、不祥事の根絶に努力すること。

②未収金は約6億円。徴収努力の結果、減少している未収金もあるが、多くは横ばいが増加傾向。平成22年度は、新たな未収金が発

生しており、その対策と未収金総額の抑制をすること。

③滞納対策室は以前に比べ、各課との連携不足が感じられる。体制を再度検討すること。

④農産物処理加工施設は、「農産物の多用途利用・高付加価値化による生産者の所得向

上」という目的をはたしていない。農家所得の向上になる施設運営をすること。

⑤旧3町で異なる水道料金統一などの課題は、平成29年度に解消されることとなった。開拓専用水道は課題があるので、早期にその方針を決定すること。

議会の指摘

決算審査特別委員会

①交付税は合併による優遇期間の終了で、やがて縮減される。健全かつ安定した財政運営をすること。

②約6億円ある未収

金総額の抑制と新たな未収金の発生防止に取り組むこと。

③農産物処理加工施設は、生産者の所得向上に結びついていない。大山恵みの里公社を指導すること。

④水道料金統一は順調に進んでいるが、開

拓専用水道の課題解決に向け、今後の方針を早急に決定すること。

⑤各種検診の受診率は向上しているが、医療費は増加傾向。保健推進員と連携し、受診率向上をはかること。

⑥大山診療所の医師の確保は、困難である

と報告を受けているが、引き続き固定医の確保に努力すること。

⑦山香荘は、食中毒の発生や無許可営業の発覚により、利用者が減少している。今後、この施設の運営方針の確立と経営の改善に努力すること。

経済建設常任委員会 視察報告

視察日 8月30日から9月1日

大山町の行政施策の参考となる事例を学ぶため、長野県周辺で視察を行いましたので、内容を要約してご紹介します。



【ながのフィルムコミッション】
行政が中心となり、観光協会と連携しながら活動をしている。観光情報の発信により、誘客へとつながる効果は絶大である。
全国的に知名度がまだまだ高くない大山町にとって、フィルムコミッションは、検討に値する事案と確信した。

【妻籠宿(つまごじゅく)】
重要伝統的建造物群保存の先駆的な取り組み地区。大山町でも、重要伝統的建造物群保存への取り組みが始まっており、住民への理解と協力で観光にもよい影響があると感じた。



【菅平高原】
80年の歴史がある、日本最大級のスポーツ合宿地。合宿客の誘致は、行政からではなく、民間宿舎経営者が独自で始めてきた。グラウンドも、民間の宿泊施設などが自前で整備しているものがほとんど。畑を利用した約100面の芝グラウンドで、高校や大学のスポーツ合宿を数多く誘致している。

【善光寺門前町】
有名な善光寺の仲見世は、浅草と同じ雰囲気。年間600万人の観光客を受け入れている余裕の表情が各店舗に

あった。

【おひさま進歩エネルギー会社】
エネルギーの地産地消をめざしたNPO法人が出発点。市民の出資でエネルギーの地産地消に取り組み、地球温暖化防止の意識を高めることに成功している。
この会社は、2005年に「南信州おひさまファンド」を設立。市民や全国の人から出資を募り、太陽光発電と省エネ事業に投資する仕組みで、保育園、公民館などの公的施設37カ所に太陽光発電設備を設置した。

